

《2020年度「お客さま本位」の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）の取組状況》

ちばぎんアセットマネジメント株式会社（以下、「弊社」）は、お客さま本位の業務運営を強化するため、2017年6月30日に『「お客さま本位」の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）に関する方針』を策定・公表しました。

この方針のもと、弊社は、お客さま本位の取組みを強化していますが、こうした取組みを分かりやすくお伝えするため、2020年度の取組状況を具体的な指標とともに公表します。

【ちばぎんアセットマネジメントの取組状況】

お客さまの最善の利益の追求、従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

- 弊社が運用する公募投資信託は、2020年度末時点で全15ファンドあります。
それらの2020年度及び設定来のパフォーマンスは後記のとおりです。【図①】
- 国内株式への投資にあたっては、投資先企業の企業価値向上及び弊社運用ファンドのパフォーマンス向上を図るべく、ファンドマネージャー及びアナリストによる投資先企業との面談・対話を積極的に実施しております。2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により対面方式での面談・対話が困難となったものの、WEB会議システム等の活用により、昨年度より件数が増加しました。【図②】
- お客さまの最善の利益の追求のために業務運営を行ってきた結果、株式の運用力が総合的に評価され、弊社はリフィニティブ・リッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2021にて「投資信託 株式部門 最優秀会社賞」を受賞しました。
- 高度な専門知識を有する人材の育成のため、従業員の外部研修への派遣等を実施すると共に、お客さまの最善の利益の追求を企業文化として定着させるため、社内勉強会を実施しております。

※リフィニティブ・リッパー・ファンド・アワードの免責事項

リフィニティブ・リッパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。選定に際しては、「Lipper Leader Rating（リッパー・リーダー・レーティング）システム」の中の「コンシスタント・リターン（収益一貫性）」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リッパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

【図①】 公募ファンド過去のパフォーマンス

	ファンド名	設定年月日	騰落率（分配金込み）	
			1年	設定来
①	ちばぎんコア投資ファンド（安定型）	2015年7月31日	15.07%	4.71%
②	ちばぎんコア投資ファンド（成長型）	2015年7月31日	20.96%	9.24%
③	日本株好配当ファンド（年1回決算型）	2016年7月29日	42.90%	63.24%
④	日本株好配当ファンド（年2回決算型）	2016年7月29日	42.80%	63.27%
⑤	むさしのコア投資ファンド（安定型）	2016年9月30日	14.74%	12.12%
⑥	むさしのコア投資ファンド（成長型）	2016年9月30日	20.68%	22.01%
⑦	オーストラリア・アジアREITファンド Aコース（為替ヘッジなし・毎月決算型）	2017年2月1日	51.60%	33.95%
⑧	オーストラリア・アジアREITファンド Bコース（為替ヘッジあり・毎月決算型）	2017年2月1日	29.56%	25.55%
⑨	オーストラリア・アジアREITファンド Cコース（為替ヘッジなし・年2回決算型）	2017年2月1日	51.83%	33.67%
⑩	オーストラリア・アジアREITファンド Dコース（為替ヘッジあり・年2回決算型）	2017年2月1日	30.73%	26.84%
⑪	日本中小型株ファンド	2017年7月31日	71.27%	54.26%
⑫	ほくよう資産形成応援ファンド	2017年8月31日	3.54%	3.64%
⑬	分散名人	2018年5月16日	21.55%	16.58%
⑭	分散名人（国内重視型）	2019年1月31日	16.73%	17.05%
⑮	ジャパンESGクオリティ200インデックス ファンド	2020年3月10日	38.78%	41.60%
	（参考）TOPIX（配当込み）		42.13%	
	（参考）TOPIX小型（配当込み）		37.04%	

※騰落率は、2020年度末（2021年3月31日）時点のものを記載しております。

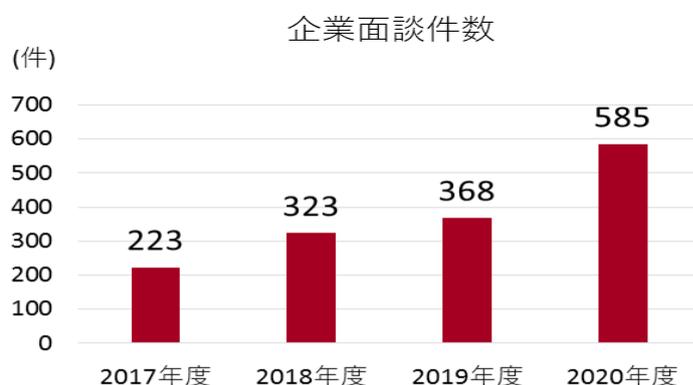
※騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものと計算しております。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

※TOPIX（配当込み）及びTOPIX小型（配当込み）は、上記各ファンドのベンチマークではありません。

あくまで参考としてお考えください。

【図②】 企業との面談・対話の活動件数



※上記の企業面談件数は、調査対象企業と個別に面談（WEB会議を含む）を行った件数です。
当社ではその他に、決算説明会への参加や証券会社アナリストとのミーティング等の調査活動も行っております。

利益相反の適切な管理

○スチュワードシップ責任を果たす上で利益相反が生じ得る局面を特定し、回避するための方針を策定・公表しております。コンプライアンス部門は、これに基づきお客さまの利益が損なわれることがないように、モニタリングを実施しております。

なお、利益相反管理方針は、下記URLにて公表しております。

<http://www.chibagin-am.co.jp/company/operation/contrary/>

○議決権行使の透明性を高めるため、議決権行使の考え方及びガイドラインを下記URLにて公表しております。

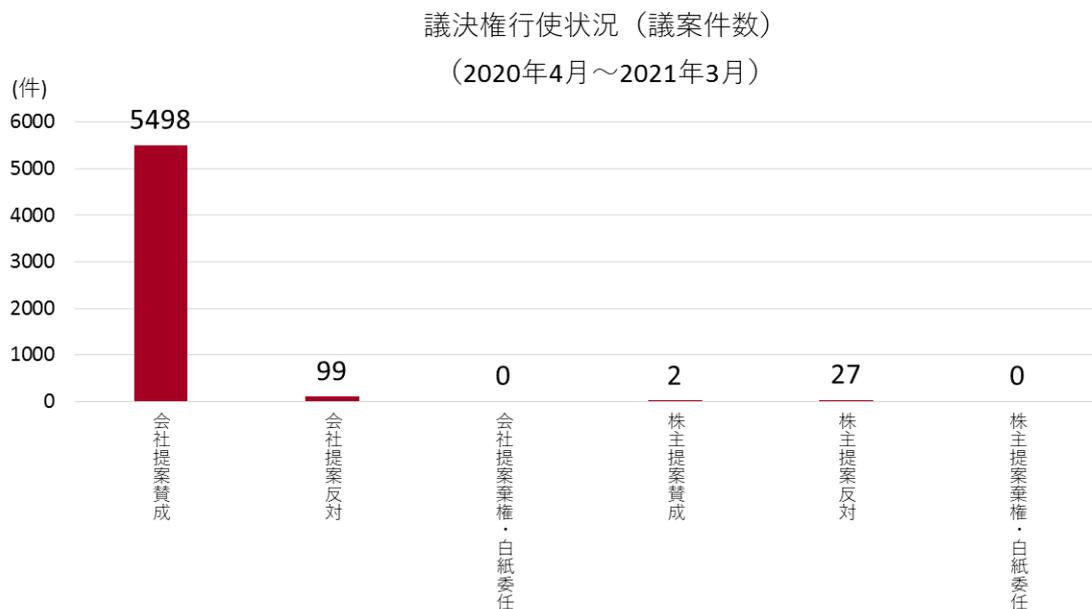
考え方 <http://www.chibagin-am.co.jp/company/operation/basic/>

ガイドライン <http://www.chibagin-am.co.jp/company/operation/guideline/>

○議決権行使結果を四半期毎にホームページで公表しております。2020年4～6月分からは、外形的に利益相反が疑われかねない議案や、ガイドラインと異なる判断をした議案等について、賛否の理由を開示することといたしました。

2020年度に行使した議案件数の合計は下記 [図③] のとおりです。

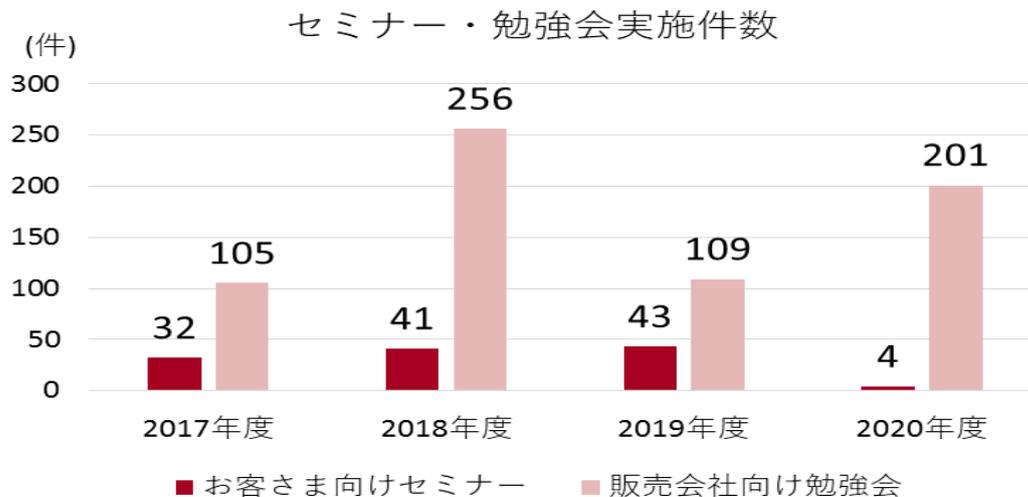
[図③] 議決権行使状況（2020年4月～2021年3月）



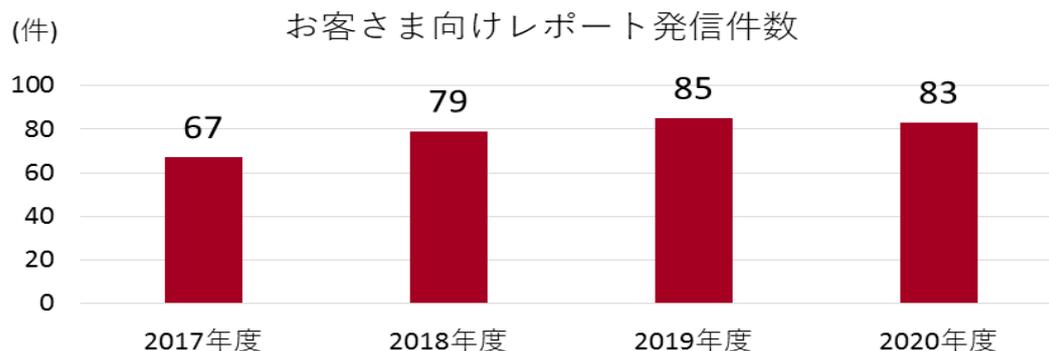
手数料等の明確化、重要な情報の分かりやすい提供

- 弊社の投資信託にてお客さまにご負担いただく手数料・その他の費用（料率）及び、それがどのようなサービスの対価であるかについて、分かりやすくお伝えできるよう、交付目論見書等に明示しております。
- お客さまの資産形成や投資判断に有用な情報を提供すべく、お客さま向けのセミナー、販売会社向けの勉強会を実施しております。2020年度につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、対面方式によるお客さま向けセミナーの開催が困難な状況が続きました。そこで、WEB会議システム等を活用した販売会社向けの勉強会を積極的に実施し、販売会社の販売員の方の支援や、販売会社を通じたお客さまへの情報提供に努めました。【図④】
- 主要販売会社を通じて、市場動向等についてのお客さま向けレポート（「投資環境ウィークリー・レポート」、「CAMマンスリー」、「臨時レポート」等）を定期的に発信しております。【図⑤】

【図④】 お客さま向けセミナー、販売会社向け勉強会実施件数



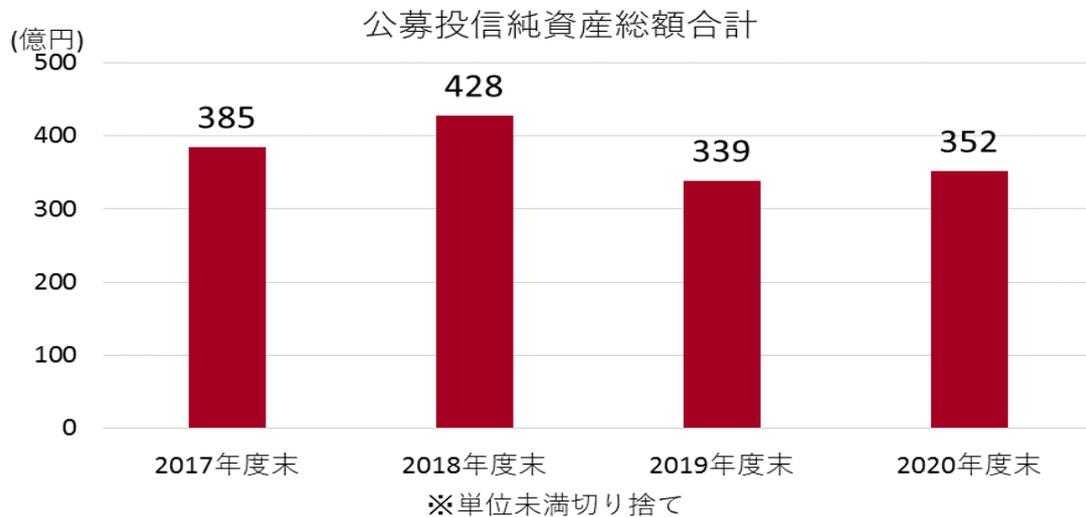
【図⑤】 お客さま向けレポート発信件数



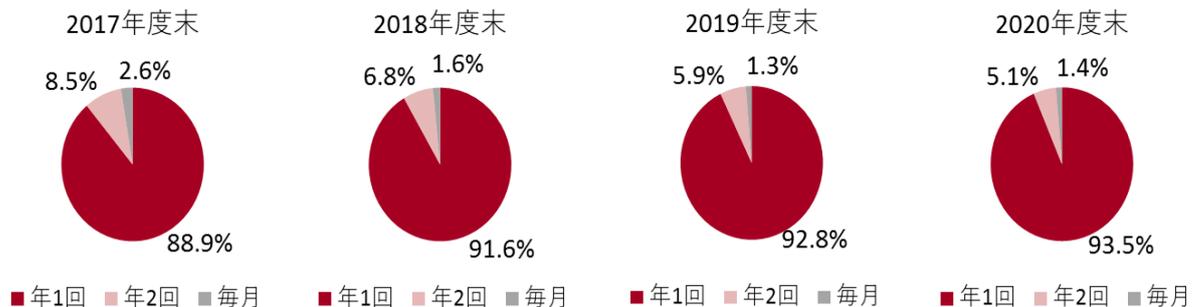
お客さまにふさわしいサービスの提供

- SDGsやESG投資への関心が高まる中、2020年3月に設定したジャパンESGクオリティ200インデックスファンド（愛称：ESGナビ）は、多くのお客さまからのご愛顧を賜り、純資産総額が100億円を超えました（2021年3月末時点）。
- 2020年度末時点の公募投資信託の運用残高は、下記【図⑥】のとおりです。
- 一般的に、分配頻度の少ないファンドは、頻度の多いファンドに比べて運用効率が高く、お客さまの中長期的な資産形成に適していると考えられています。弊社では分配（決算）頻度が年1回のファンドを中心に運用を行っております。【図⑦】

【図⑥】 公募投資信託の純資産総額の推移



【図⑦】 公募投資信託の決算頻度別純資産総額比率



以上